



2024年7月24日

SCSK株式会社

New Relic 株式会社

SCSKとNew Relicが販売パートナー契約を締結し オブザーバビリティプラットフォーム「New Relic」の提供で協力 ～企業のデジタル変革におけるユーザー体験向上に貢献～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)と、デジタルビジネスにオブザーバビリティ(可観測性)プラットフォームを提供する New Relic 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小西 真一郎、以下 New Relic)はオブザーバビリティプラットフォーム「New Relic(ニューレリック)」の販売パートナー契約を締結しました。SCSKは、「New Relic」のライセンス提供と導入・運用・サポートなどのサービス提供を開始し、お客様へ提供するプライベートクラウドや SaaS プラットフォームなどに対し「New Relic」の導入拡大を進めていき、2026年3月末までに40社への提供を目指します。

1. 背景

現在、企業はデジタル変革(DX)への取り組みを加速させており、効率化やコスト削減だけでなく、デジタルを生かした新しいサービスを創り出し、新たなユーザー体験をもたらしています。一方で、ひとたびシステム障害が起きると業務停止やサービス利用ができないなど、ユーザー体験の悪化につながるリスクも内在しています。そのことから、システムだけでなくユーザーが使用しているアプリケーションの状態までをリアルタイムで網羅的に把握して可視化することで、スピーディな問題特定を可能にするオブザーバビリティへの期待が高まっています。SCSKは、従来型のシステム監視サービスに加え、ユーザーのサービス利用状況に係る問題への迅速な対応が可能な監視サービスを追加することで、企業のユーザー体験向上に貢献できると考え、2023年8月より社内に導入した「New Relic」でクラウドへのオブザーバビリティの実装と効果検証を行い、導入のしやすさや迅速な問題特定、各クラウドサービスとの親和性、サポート体制を評価し、このたびの協業に至りました。

2. New Relicの概要

「New Relic」は、マルチクラウド環境のオブザーバビリティを実現する SaaS 型システム監視プラットフォームです。クラウド環境・オンプレミス環境より自動的に監視データを収集し、監視モニタにてリアルタイムにシステム状況を把握できるだけでなく、ダッシュボード機能によりパフォーマンスやシステムエラーの傾向を可視化できるサービスです。

■「New Relic」の特徴

・強力な APM 機能

「New Relic」の APM(Application Performance Monitoring)機能では、システム利用中のユーザーとアプリケーションやインフラのパフォーマンスデータを関連付けし、システム状況を統合的に可視化することでスムーズに問題を特定できるため、問題の予見や未然防止いたします。

・SaaS 型オブザーバビリティプラットフォーム

SaaS 型サービスのため、短期間でシステム導入が可能です。複雑な監視設定が不要で、自動で収集される各メトリクスを直感的、かつ視覚的に洗練された UI を利用することで、すぐにモニタリングを開始できます。

・ユーザー数課金によるコスト

利用ユーザー数単位による課金体系のため、一般的に高コストになりがちな監視対象システム数単位による課金と比較して、低コストでシステム導入が可能です。透明性の高い料金プランにより、従量課金型のような予実差がなく、安心して利用することができます。

・豊富な導入実績と安心の国内技術サポート

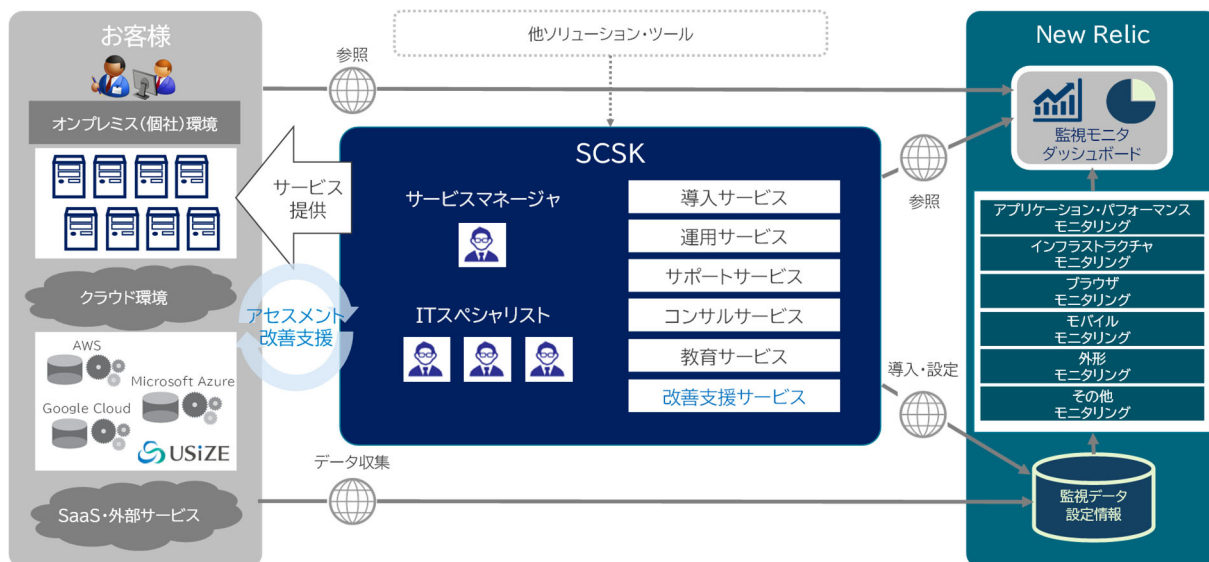
多くの企業で採用実績があり、国内法人での国内技術者によりサポート体制が充実しているため、迅速な導入サポートを実現し、監視サービスを開始できます。

3. SCSKが提供するサービス概要

今回のパートナー契約により、SCSKは導入～導入後の運用・サポートまで一貫したサービスを提供します。内製によるシステム運用されているお客様向けには、導入・コンサルティングおよび教育サービスも併せて提供します。また、SCSKは、200社以上のお客様に提供してきたシステム運用・マネージドサービスの実績・ノウハウを結集したITサービスマネジメントの運用改善のサイクル全般を支援するアセスメントツール「HEARTIL Easy Checkup」^{※1}と「New Relic」を組み合わせ、SCSK独自の運用改善支援サービスを提供します。

※1 <https://www.scsk.jp/product/common/hassessment/index.html>

■提供サービスイメージ



両社からのコメント

SCSK 株式会社 ソリューション事業グループ マネジメントサービス事業本部 本部長 川村 純 コメント

グローバルで多数の実績を持つ New Relic と強力なパートナーシップを結ぶことを嬉しく思います。New Relic が提供するオブザーバビリティの機能に SCSK がこれまで培ってきた基盤インテグレーションや運用サービスのノウハウを付加価値として、SCSK ならではのサービス提供を推進してまいります。

New Relic 株式会社 代表取締役社長 小西 真一郎 コメント

SCSKとのパートナーシップの実現についてとても嬉しく思います。これまで長年にわたり、幅広い業種に多様な IT サービスを提供してきたSCSKのノウハウと New Relic が提供するオブザーバビリティを組み合わせることで、国内のより多くのお客様のデジタルサービス・ビジネスの競争力向上に貢献できることを願っています。

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供しています。また、IT を軸としたお客様や社会との共創による、さまざまな業種・業界や社会の課題解決にむけた新たな挑戦に取り組んでいます。

<https://www.scsk.jp/>

New Relic について

2008年に創業した New Relic は、業界におけるリーダーとして、デジタルビジネスのあらゆる重要指標を観測可能にする「オブザーバビリティプラットフォーム」を提供しています。デジタルビジネスを構成するアプリケーションやインフラストラクチャだけでなく、ユーザー側の顧客体験状況までも観測可能にするため、企業はデジタルサービスの障害検知、顧客体験の低下検知、潜在的な問題やボトルネックを早期特定し解決する DevOps チームを生み出します。これにより、企業は取り組むべきデジタル変革を、計測可能な戦略へと変化させることができます。New Relic の全世界顧客数は 16,000 以上、Fortune 100 企業の過半数で採用されており、日本でも数百社を超えるお客様のデジタル変革を支援しています。New Relic が支持されている理由は、

<https://newrelic.com/jp> をご覧ください。

オブザーバビリティプラットフォーム「New Relic」について

「New Relic」はオブザーバビリティのリーダーとして、優れたソフトウェアの計画、構築、デプロイ、実行に対するデータドリブンなアプローチでエンジニアを支援しています。「New Relic」は、エンジニアがあらゆるテレメトリ（メトリクス、イベント、ログ、トレース）を取得できる唯一の統合データプラットフォームを提供し、強力なフルスタック分析ツールとの組み合わせにより、エンジニアが意見ではなくデータを用いて最高の仕事をできるよう支援します。「New Relic」は、シンプルで透明性の高い価格体系を採用しています。開発サイクルタイムの計画、変更失敗率、リリース頻度、平均復旧時間(MTTR)の改善を支援することにより、エンジニアに高い費用対効果をもたらします。

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

マネジメントサービス事業本部

E-mail: NewRelic-info@scsk.jp

New Relic 株式会社

マーケティング部 佐藤

E-mail: japan_pr@newrelic.com

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 須田

TEL: 03-5166-1150

共同ピーアール株式会社

(New Relic株式会社 広報代行)

E-mail: newrelic-pr@kyodo-pr.co.jp

児玉 070-4303-7256

干場 070-4303-7261

田村 070-4303-7254

本田 070-4303-7350

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

※ 本文書内の製品名および会社名は全て、それらの登録名義人の商標である場合があります。